

令和3年度 基本評価調書①		所管部局	経済部	所管課	雇用労政課	
施策名	多様な人材の就業促進			施策コード	05161	
政策体系(中項目)	良質で安定的な雇用の場づくりと産業人材の育成・確保			政策体系コード	2(7)B	
知事公約	C0015 C0023	総合戦略	A1341 A1342 A1343 A1344 A3812	国土強靱化		事務事業数 3
SDGs				総合判定	概ね順調	

【1 Plan】

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> ニート・フリーターをはじめ、様々な状況におかれた若者、多様なライフサイクルの中で継続就業や復職を希望する子育て中の女性など、多様な人材の就業促進、職場定着を図るため、雇用機会の拡大とミスマッチの解消を図る。 季節労働者の通年雇用化を促進し、雇用の安定を図る。 					
現状と課題	卒業後3年以内の離職率は全国を上回って推移。大卒者等の道内就職率は低下傾向。また、女性や中高年者の就業率は上昇傾向にあるが、無職者の中には、再就職への不安を持つ者が多いこともあり、全国を下回って推移。季節労働者数は、年々減少しているが、その多くは冬期間に就労機会を失うなど不安定な就労環境に置かれている。					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ジョブカフェや北海道就業サポートセンターによる支援 ジョブカフェ・ジョブサロンにおける相談支援、地域若者サポートステーション等との連携 季節労働者の雇用確保や就職促進などを通じた通年雇用化に取り組んでいる通年雇用促進協議会の組織運営体制の強化を図るなど、国や地域との連携を密にし、季節労働者の通年雇用化を促進 					
予算額(千円)	303,202	R2	292,254	R1	299,429	
施策のイメージ						

＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
ジョブカフェ北海道での若年者の就職内定者数	目標値		6,380	6,380	6,380	63,800	83.2%	C
	実績値		6,400	6,170	5,311	-		
設定理由	ジョブカフェ北海道に登録し、就職支援サービスを受けて就職が内定した人数の累計							
分析(主な取組と成果)								
新型コロナウイルス感染症の影響により、若年者のジョブカフェ利用者数が減少した結果、実績が低下し未達となった。								

指標名②	増加	人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
ジョブサロン北海道での中高年齢者等の就職者数	目標値		540	540	540	5,400	92.2%	B
	実績値		552	330	498	-		
設定理由	ジョブサロン北海道に登録し、就職支援サービスを受けて就職した人数の累計							
分析(主な取組と成果)								
新型コロナウイルス感染症の影響により、中高年齢者のジョブカフェ利用者数が減少した結果、実績が低下し未達となった。								

指標名③	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
若者(25~29歳)の就業率(暦年)	目標値		-	-	84.9	85.7	97.8%	B
	実績値		-	-	83.0	-		
設定理由	25~29歳の若年者のうち、仕事に就いている人の割合							
分析(主な取組と成果)								
北海道は完全失業率の上昇、有効求人倍率の低下など非常に厳しい状況にあり、目標未達となった。								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	多様な人材の就業促進	施策コード	05161
---------------	-----	------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
	ジョブカフェ北海道での若年者の就職内定者数	6,400	6,170	5,311	6,380	C
	ジョブサロン北海道での中高年齢者等の就職者数	552	330	498	540	B
	若者（25～29歳）の就業率（暦年）	-	-	83	84.9	B
目標（指標）の達成状況	ジョブカフェ・ジョブサロン北海道における就職者数については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設の一時閉鎖や利用者数の減少等厳しい状況におかれており、目標に向けたさらなる取組が必要。				指標総合判定	B
連携状況	北海道労働政策協定に基づき、ジョブカフェ北海道と札幌わかものハローワーク、札幌新卒応援ハローワークによる若年者に対する支援、ジョブサロン北海道の地方拠点と地元のハローワークによる支援等を一体的に行っている。				連携判定	○
緊急性優先性	本道の有効求人倍率は16か月連続して前年同月を下回っていることから、求職者に対するきめ細やかなカウンセリングなどを通じて、本人の能力や適性に応じた職種へ誘導するとともに、企業に対する個別の人材確保・職場定着支援を行っている。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	職業体験や合同企業説明会の開催など、若年者及び中高年齢者等の就業促進・職場定着に向けた取組が着実に推進されているものの、指標の達成に向けたさらなる取組が必要。				総合判定（一次評価）	概ね順調

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	カウンセリング、セミナー及び合同企業説明会をオンラインで実施するなどし、多様な人材の就業を促進。
	②	若年者（新規学卒者含む）をはじめ、就職氷河期世代や新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた求職者等に支援が届くよう、新たな広報手段について検討が必要。
	③	

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	北海道就業支援センター事業費：新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること	対応状況 (R3.3時点)	オンラインによる対応を強化し、支援メニューの提供内容を維持する
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	カウンセリング、セミナー及び合同企業説明会を対面・オンライン双方を効果的に活用して実施するなどし、多様な人材の就業を促進する。 また、スマートフォンやタブレットの普及でHPの閲覧手段が多様化していることから、HPをどの端末でも閲覧しやすいレスポンスデザインとするほか、SNS（InstagramやLINE）での情報発信を強化する。

令和3年度 補助指標調書①	施策名	多様な人材の就業促進	施策コード	05161
---------------	-----	------------	-------	-------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標 (R6)	達成率	指標判定
新規学卒者（大学等）の道内就職割合		目標値	-	-	68.9	70.0	101.9%	A
		実績値	-	-	70.2	-		
設定理由	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校の新規学校卒業就職者の道内への就職割合							
分析（主な取組と成果）								
新型コロナウイルスの影響による求人や採用活動の変化等から、道外就職者数が大幅に減少したものと考えられる。これにより、新規学卒者の就職内定率が低下する一方、道内就職の割合が高まり、結果として目標を達成した。								

補助指標名②	増加	人	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標 (R5)	達成率	指標判定
季節労働者の通年雇用化数		目標値	4,000	4,000	4,000	14,000	93.1%	B
		実績値	4,839	3,867	3,725	-		
設定理由	季節労働者対策に関する取組方針（第6次）の取組期間の4年間（令和2年度から令和5年度）で14,000人として設定							
分析（主な取組と成果）								
冬期間における雇用の場の確保、季節労働者の技能向上、事業主の意欲喚起等により計画を上回るペースで進捗している。								

補助指標名③	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標 (R6)	達成率	指標判定
男性（60～64歳）の就業率（暦年）		目標値	-	-	82.2	83.8	102.9%	A
		実績値	-	-	84.6	-		
設定理由	60～64歳の男性における、人口に対する就業者数の割合							
分析（主な取組と成果）								
高齢者雇用安定法の改正等、全国的に高齢者が活躍できる環境整備が進められていることをはじめ、多様な人材の安定就業促進等により、計画を上回るペースで進捗している。								

補助指標名④			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名⑤			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

